

H26年度 佐賀県学習状況調査・全国学力学習状況調査の分析結果と今後の対応について

桜岡小学校

4月に行われた全国学力・学習状況調査（6年国語・算数）、佐賀県学習状況調査（5年国語・算数）の結果が分かりました。

6年国語・6年算数の全体の正答率は 県の平均とほぼ同じです。

5年国語・5年算数の全体の正答率は、県の平均とほぼ同じです。

正答率をみると、少しずつですが、昨年よりよくなっています。

今年の5年生は、昨年度の5年生より、国語も算数も県平均との差が少なくなり、正答率がよくなっています。

今年の6年生は、昨年度の6年生と比べると、国語はほぼ同じですが、算数は正答率がよくなり、県平均との差も少なくなっています。また、5年生の時の正答率と比べると国語も算数も正答率が上がっています。

結果の個人票は、1学期末に通知表と共に配布しました。本校では、夏期休業中に、職員研修を行って今回の結果を詳しく分析し、今後、授業においてどのような手立てをとるか、特設タイムにおいてどのような指導をしていくかについて考えます。具体的な手立てや指導方法を工夫して指導を充実させ、2学期より日々の授業の改善につなげていくとともに、補充指導を行っていきます。

ご家庭でも、結果をご覧になって、復習のお手伝いをしていただくと助かります。よろしくお願いいたします。

～全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査の分析結果と今後の対応について～

	分析結果	今後の対応
5 年 国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○全体の正答率は 県平均とほぼ同じである。 ○「話すこと・聞くこと」は県平均をやや上回っている。 ○「書くこと」は県平均とほぼ同じである。 ○「読むこと」は県平均よりやや下回っている。 ○「言語事項」は県平均より大きく下回っている。 ○示された資料から必要な情報を取り出し、的確に活用して、提示された条件に合わせて作文することができていない。 ○物語文の登場人物の心情を捉えたり、説明文の中心となる大事な事柄を読み取ったりすることができていない。 ○語句についての知識理解が定着しておらず、特に接続語や指示語をうまく活用することができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ①作文の授業において、構成メモを使って段落を構成したり、自分の考えを理由や事例を挙げるなどの条件をふまえて作文したりする活動を取り入れる。 ②説明文の授業に力を入れ、カードや図を使って段落相互の関係を捉えさせたり、中心となる事柄を捉えて要約させたりする活動を取り入れる。 ③接続語を適切に使って書く問題や、語彙力を高める教材を取り入れたスキルを「桜っ子タイム」等で実施していく。 ④「二人でタイム」「みんなでタイム」という考えを交流する場を積極的に取り入れ、話し合う力を高めていく。

	分析結果	今後の対応
5 年 算 数	<p>○全体の正答率は 県平均とほぼ同じである。</p> <p>○評価観点別では、「技能」「知識・理解」は県平均とほぼ同じであるが、「考え方」は県平均よりやや下回っている。</p> <p>○内容領域別では、「数と計算」は県平均よりやや下回っているが、「量と測定」「図形」「数量関係」は県平均とほぼ同じである。</p> <p>○計算のやり方は分かっているが、計算ミスや繰り上がりのミスが多い。小数の計算の習熟が十分ではない。</p> <p>○図形の用語や性質、単位の関係など知識理解が定着していない。</p> <p>○文章問題の中から解決に必要な情報を取り出したり、条件に沿って順序よく解き方を説明したりすることができていない。</p>	<p>①授業の中で活用問題に取り組む場を設定し、問題から必要な情報を取り出し、順序よく考えて表現する活動を取り入れる。</p> <p>②基礎的な計算技能や知識理解の内容を定着させるために、音読計算やドリル学習の時間を確保し、補充指導も行う。また、自分で答えの見直しをしたり確かめをしたりするように指導する。</p> <p>③習った算数的用語を教室に掲示し、言葉を使って、分かりやすく説明したり書いたりする活動を取り入れ、「二人でタイム」「みんなでタイム」で考えを交流させて定着を図る。</p>
6 年 国 語	<p>○全体の正答率は 県平均とほぼ同じである。</p> <p>○「書くこと」は 県平均よりやや下回っている。</p> <p>○「話すこと聞くこと」「読むこと」「言語事項」は 県平均とほぼ同じである。</p> <p>○「書くこと」では、表記上のきまりや言葉の理解が十分ではなく、資料を読み取り、必要な情報を取捨選択し、示された条件に合わせて文章を書くことができていない。</p> <p>○「読むこと」では、物語の読み取りにおいて、人物の相互関係を読み取ることができていない。また、表現の特徴や工夫を捉えることができていない。</p>	<p>①作文の授業において、事実と感想、意見などをカード等を使って書き分け整理する活動を取り入れる。</p> <p>②決められた条件に合わせて文章を書くスキル学習を行う。</p> <p>③設問の意図を正しく読み取ったり、資料から必要な情報を取り出して読み取ったりする問題に「桜っ子タイム」等で取り組ませる。</p>
6 年 算 数	<p>○全体の正答率は 県平均とほぼ同じである。</p> <p>○評価観点別では、「考え方」「技能」「知識・理解」いずれも県平均とほぼ同じである。</p> <p>○内容領域別では、「図形」は県平均より大きく下回っているが、「数と計算」「量と測定」「数量関係」は県平均とほぼ同じである。</p> <p>○小数の計算が苦手である。</p> <p>○図形の性質や定義を理解し、それをを用いて問題を解決することができていない。</p> <p>○単位量あたりの大きさについての理解が不十分であり、図や式で説明できていない。</p> <p>○資料から必要な情報を適切に取り出すことができておらず、条件に合うように順序よく説明することができていない。</p>	<p>①単元の終末や「すいすいタイム」等で活用問題に多く取り組ませる。文章問題から必要な情報を取り出したり、図を読み取って言葉や式で表現したりする力を育成する。</p> <p>②学習した算数的用語を使って図形の性質や定義を説明する活動を取り入れ、「二人でタイム」「みんなでタイム」で考えを交流させて定着を図る。</p> <p>③音読計算や計算力検定、補充学習に取り組み、基礎的な計算力の向上を図る。</p>